

『夜明け前』

施設入所支援課 管理課長 中島 正寛

先日、「夜明け前」という映画を観てきました。この映画は、今から百年前の精神病に有効な治療法が無かった時代、座敷牢に幽閉された精神病患者の実態を調査した呉秀三氏のドキュメンタリー映画です。そして、私が精神保健福祉士を目指す切掛けの一つになったのが彼の言葉でした。呉氏は、実態調査をする中で『わが邦（くに）十何万の精神病患者は実にこの病を受けたるの不幸の他に、この邦に生まれたるの不幸を重ねるものというべし』という言葉を残しています。

この頃の我が国には、社会福祉という概念がなく※、「精神病患者監護法」が施行されたことで「私宅監置」が規定されました。明治時代、病院に入ることが出来たのはごく少数の富裕層のみで、中産階級以下のほとんどの人は私宅監置、さもなくば祈祷などの民間療法を利用していたといえます。この辺りの話しをすると長くなるので割愛しますが、それから百有余年、この国はどのように変わったのでしょうか。

今年七月、参院選で三名の障害者が当選しました。国は八月の臨時国会開催に向けてバリアフリー化を進め、持ち込みが禁止されていたノートパソコンを認め、上着やネクタイの着用も求めないとなりました。しかし、船後・木村両議員が受けている「重度訪問介護」は、「経済活動」となる議員活動では認めないという問題も上がっています。そのため、サービス利用料は当面、参議院が支出するそうです。木村議員は、「根本的に間違っている」「私を特別扱いするのではなく、法律などを見直し、全ての障がい者に就労や就学を権利として認め、公費で社会参加できるようにすべき」と提案しています。これを聞き、私は呉氏が生きていた百年前とどれ程変わったのかと疑問を持ちました。恵まれた者や機会が与えられた者だけが優遇される。これは、『この邦に生まれたるの不幸を重ねるもの』ではないでしょうか。

その中、九月十一日に発足した安倍再改造内閣で安倍首相は、「全ての世代が安心できる新しい社会保障制度の在り方を大胆に構想する」と談話で述べています。折しも来年はパリンピック。そのテーマは「光」です。『この邦に生まれたるの幸』と語れる日が訪れるため、福祉の最前線にいる我々は「夜明け」を目指して、日々邁進しなければなりません。

※明治の社会事業（福祉）は、産業化によって引き起こされた問題に対応するために設立されたもので、現代の社会福祉の概念とは意味合いが違っている。また、救済という意味では、聖徳太子の「悲田院」や更に先時代の相互扶助に遡ることができる。



事業活動紹介 ～施設入所支援課～

今回は、入所支援課の「コテージ・コテージ Jr」と「風鈴山荘」の取組みをご紹介します。

■ コテージ・コテージ Jr

コテージ・コテージ Jr では、地域にお住いの障がいを持った方々に対し『日中一時支援』と『短期入所』の2つの一時利用のサービスを行っています。

食事・入浴・排泄等の日常の生活支援だけでなく、散歩や公園で体を動かしたり、ゆっくり本を読んだり、音楽を聞いたり…ご本人のニーズに沿った楽しみを提供出来るよう心がけています。

また、余暇支援として、外出活動や季節ごとのイベントを実施しています。皆さんに楽しんで参加して頂けるよう、梨狩りや地域のプールへの外出、おやつ作り、焼き芋大会、クリスマス会、など様々なイベントを企画しています。



おやつ作り

今後ともご利用者の気持ちを汲み取りながら、一人一人に合わせた支援が出来るよう取り組んでいきたいと思えます。日中一時支援及び短期入所のご利用は、ご家族の休養や旅行等のレスパイトとしての利用はもちろんのこと社会的理由（ご家族の病気、冠婚葬祭、出張等）を見据え、将来のための練習として活用して頂くことも可能です。まずはお気軽にご相談ください。

■ 風鈴山荘（グループホーム）

月日が流れるのは早く、風鈴山荘の開所から早4年半が経ちました。風鈴山荘は、ゆらくの里に併設されたユニット型のグループホームで、1棟7名の計14名のご利用者が過ごされています。ご利用者の多くが「自閉症スペクトラム障がい」をお持ちの方ですので、障がい特性に配慮し、個室を中心とした環境設定を行い、個別支援を提供しています。内装は、落ち着いた色味の木目や白を基調とし、視覚的な刺激を減らしています。加えて、自然光を取り入れるための天窗を各所に配し、照明による光刺激にも配慮した造りとなっています。



カレーパーティー

また、風鈴山荘では、小集団での共同作業や催し物を通じ、季節感を感じて頂けるように取り組んでいます。夏は、カレーパーティーを催し、ご利用者とスタッフが一緒に食材の買い出しや調理を行いました。他にもかき氷を作ったり、花火大会を実施しました。冬には、クリスマス会として、皆で飾り付けを行い、ケーキやピザなどを堪能して頂きました。ゆらくの里と合同の全体イベントでは楽しむことが難しい方々にも、個々の特性に配慮し、それぞれの参加方法で、それぞれが無理なく楽しんでもらえるように小規模のイベントを実施しています。

通所事業職員研修 8月24日(土)

昨年に引き続き、貝塚ケアサービス研究所の貝塚誠一郎先生にお越し頂き、「支援従事者のためのマナーおよびリスク管理 part2」と題し、接遇マナー等についての講演をお願いしました。

この研修で特に心に残ったのは、職員の一人一人が「法人の代表であり、顔である」ということです。接遇マナーによっては、法人の印象を良くも悪くもさせてしまいます。研修の中で、私たちが普段何気なく行っている行動や癖が相手にどのような印象を与えているのかを改めて考える機会がありました。例えば、会話の最中に「耳を触る」「頭を掻く」「目を細める」「腕を組む」というような行動をとってしまうことがあると思いますが、いずれも相手に与える印象はあまり良くありません。相手からすれば「ちゃんと話を聞いてくれているのかな?」「退屈?」「もう聞きたくないのかな?」などの印象を受けてしまいます。接遇時に自分自身がどんな行動をとっているのかを知ることの重要性を実感しました。

先生のお話から、コミュニケーションを図る際には、態度や仕草が非常に重要であることを学ぶことができました。そして、支援従事者の仕事は、人と密接に関わる仕事だからこそ、基本的な接遇マナーを習得し、社会性を養い、人と人の間に生まれるコミュニケーションを大切にする意識をもって、ご利用者やご家族、職員と真摯に向き合うべきだと強く感じました。



ゆらくの里施設内研修 9月2日(月)

今夏は、梅花女子大学 食文化学部 管理栄養学科の井戸由美子教授にお越し頂きました。教授は、「ラクトスクロース（乳果オリゴ糖）による腸内フローラ改善と便秘対策」「咬合力・咀嚼力と嚥下」等についての臨床研究をしておられ、今回は「排便コントロール」について、研究結果を交えて講演をして頂きました。

多くの抗精神病薬には、神経伝達物質の働きを阻害する副作用があり、便秘に繋がります。慢性便秘の場合は、改善の為に下剤や浣腸が必要です。しかし、下剤の長期服用は、腸が伸びたゴムのようになり、機能低下を招きます。そうした腸内では、便が溜りやすく、溜った便が腸管を押し広げ、蠕動運動を低下させ、イレウス（腸閉塞）になりやすくなります。

腸の機能障害の改善には、善玉菌を増やし、腸内環境を整えることが重要です。その方法には、プロバイオティクス【ヨーグルトや乳酸菌飲料を摂取し、有益な働きをする微生物を摂る。毎日摂る必要あり。】とプレバイオティクス【オリゴ糖や食物繊維など健康に有益な生理効果を与える成分を摂る。益生菌のバランスが整えば、しばらく中断してもOK。】の2つがあります。プレバイオティクスとして、ラクトスクロース（乳化オリゴ糖）の摂取が有効であるとのこと。ラクトスクロースには、難消化性・整腸効果・免疫力強化・脂肪吸収抑制などの特性があり、便通の改善が見込まれ、下剤の減量に伴い、身体の負担も減らせます。

また、腸は神経細胞が脳に次いで多く、第二の脳と言われており、幸せホルモンとも呼ばれるセロトニンの約95%が腸で作られています。つまり、腸内環境をコントロールすることが身体だけでなく、心の健康に多大な影響を及ぼすのです。

講演を聞き、たかが便秘とあなどることなかれ！便秘は心身に悪影響を及ぼす病気と捉えるべきであることを痛感しました。ゆらくの里のご利用者にも「うんこでた！」と笑顔で話しかけて下さる方が居られ、排便の大切さを感じます。栄養士・看護師とも協力し、この講演内容をご利用者の健康管理に繋げて行きたいと思います。



第6回

IWAKI 夏フェス

7月14日（日）に、『IWAKI 夏フェス』を開催致しました。第6回目を迎えた今回は、「音と踊りと地域の共鳴」をテーマに地域共生社会の実現を目指し、香芝市の「ボランティアフェスティバル in 香芝 2019」とコラボレーションを行い、昼夜を通じての共同開催となりました。



引継ぎ式

あいにくの小雨模様でしたが、ボランティアフェスティバルからの引継ぎ式を行った後、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜る中、香芝市市長 吉田弘明様にご挨拶を頂戴し、『IWAKI 夏フェス』がスタート。

多数の豪華な出演者や模擬店、豪華景品が目白押しのビンゴゲーム大会と会場は大盛況！！

また、今回は地域から吉川自動車様が、準備段階の実行委員会の会議から参加して下さい、事前・当日の宣伝や会場内でのインスタ映えスポットの運営等にご尽力頂きました。

今年の『IWAKI 夏フェス』は、天候には恵まれなかったものの、多くの方々のご協力を仰ぎ、過去最高の来場者数を記録することが出来ました。

ご協力頂きました方々及び近隣住民の皆様には、この場を借りて、心よりお礼申し上げます。

『第7回 IWAKI 夏フェス』についても、早くも来月から検討がスタートします。皆様に喜ばれるイベントとして精一杯準備を進めて参りますので、来年の『IWAKI 夏フェス』も乞うご期待！

《模 擬 店》

Good Job Center KASHIBA、たこやき 味一、あっとほーむ香芝、逢坂自治会、香芝市身体障害者福祉協会、NEVE26、ならしか（Bar Sally）、遊友会、酒造割烹 布川、天昇なら舞いちや、かざぐるま、ゆらくの里家族会、以上の皆様が出店して下さい、当法人からも通所支援課・児童支援課が出店しました。

どの模擬店も大繁盛で、早々に売り切れてしまうお店が続出していました。

◆Good Job! Center KASHIBA （社会福祉法人 かつぶしの会） ホットドッグ、レモネード、梅ソーダ	◆たこやき 味一 （社会福祉法人 夜友会） たこ焼き	◆あっとほーむ香芝 （社会福祉法人 暁） フランクフルト	◆逢坂自治会 みたらし団子
◆香芝市身体障害者福祉協会 串揚げ、ポテト、かき氷、豚串焼き	◆NEVE26 台湾かき氷、ソフトクリーム、ケバブ アイスキャンディー、アイスタルト	◆ならしか（Bar Sally） 奈良鹿角のカレー、かき氷	◆遊友会 焼きそば
◆酒造割烹 布川 大和極上唐揚げ	◆天昇なら舞いちや わたあめ、電気ソーダ	◆ゆらくの里家族会 冷やしパイン	◆かざぐるま （社会福祉法人 いこま福祉会） 野菜販売、雑貨、クッキー
◆以和貴会 通所支援課 スーパーボールすくい、ヨーヨー釣り	◆以和貴会 児童支援課 あてもの、ジュース		



（左から）酒造割烹 布川「大和極上からあげ」、ならしか「かき氷」、あっとほーむ香芝「フランクフルト」

《出 演 者》 吉本芸人「ラニーノーズ」、義足のダンサー「森田かずよ」、一条高校ダンス部、笑配師 花吹雪紫音、香芝天衝太鼓、LOICX☆チアダンススクール、con brio(コンブリオ)、香芝中学校吹奏楽部、天昇なら舞いちや、以和貴舞踊会、ボノボコーラス(順不同 敬称略) 天昇なら舞いちや×以和貴舞踊会による「よさこい演舞」では、他の出演者や来場者・ご利用者・職員などが手を取り合い、一緒に踊りました。また、情熱溢れるダンスやパフォーマンス、スペシャルゲスト「ラニーノーズ」による歌ネタ漫才など、どれも大盛り上がりでした。



(左上から時計回りに) 一条高校ダンス部、香芝中学校吹奏楽部、笑配師 花吹雪紫音、天昇なら舞いちや×以和貴舞踊会、森田かずよ×香芝天衝太鼓



(左) ビンゴゲーム大会
(右) 吉川自動車様による
インスタ映えスポット



ご協賛いただきました皆様

植田隆介、宇田孝子、(株)南都銀行香芝支店、(株)タクサン、久米レイ子、池上治人、戌亥幸秀、武内希依、愛の会、イダタフレスコ(株)、ゆらくの里家族会、(株)田原建設、(株)ヤマイチテクノ、R y o設計室、船木燃料店、岡本幸宗、(株)ステップワン、山本珈琲(株)京都営業所、源開発(株)、ヨシカワ(株)、ジュルネフーズ(株)、岡村プロテックス(株)、大和信用金庫香芝中央支店、中塚正人、辻電器商会(順不同 敬称略)

ほか匿名希望の方多数からもご協賛を頂戴致しました。ありがとうございました。

すみれの里 一泊旅行 9月12日～13日

今年は、城崎・宮津方面に出かけました。城崎マリンワールドでは、セイウチのランチタイムを見学し、その大きさと食欲にビックリ！ブリの大群が泳ぎ回る水槽では、迫力のエサやりを体験！エサをあげると目の前に魚たちが殺到し、ピチピチ、バシャバシャと激しいフィッシュダンスを観ることができ、感動でした。夕日ヶ浦温泉での宴会では、カンや甘えびなどの豪華な食事を頂きながら、カラオケを楽しみました。

2日目の伊根湾めぐりでは、遊覧船に乗船し、伊根の舟屋を見学。舟屋は、1階が船のガレージ、2階が居間となった独特な建物で、船から観るとまるで海に浮かんでいるようでした。また、船上で飛んでくるカモメにエサやりができるのです。皆さん、ちょっと怖がりながらもエサやりを楽しんでおられました。普段では見ることのない動物たちとの触れ合いを通じ、楽しい思い出を作れたのではないかと感じました。今後ともご家族様にご理解とご協力を頂き、ご利用者の皆さんの楽しみとなるような旅行を実現したいと思います。



我楽さぽーと班 一泊旅行 9月19日～20日

今年は、兵庫県姫路方面へ旅行に行ってきました。絶好のお出掛け日和で、皆さん元気いっぱいでの出発となりました。須磨海浜水族園では、大きな水槽で気持ちよさそうに泳いでいるペンギンや様々なお魚を見ることができました。また、ダイナミックに水しぶきをあげるイルカショーを観覧し、皆さん大盛り上がり！宿泊先の播州の山々を一望できるホテルでは、豪華なご飯と露天風呂で旅の疲れを癒されていました。

2日目の姫路セントラルパークは、サファリパーク内をバスに乗ったまま見学できるのが目玉のテーマパークです。大きな窓から、様々な動物の生態をウォッチング。動物が現れる度に、歓声が上がります。バスの前をヒョウやダチョウなど様々な動物が横断！普段は見ることのない動物たちを間近で見ることができ、大興奮でした。昼食は、世界遺産「姫路城」が目の前にそびえるお店で、姫路おでんや揖保乃糸などのご当地グルメを堪能しました。楽しい時間は、あっという間でしたが、皆さん思い思いの時間を過ごされ、今回の旅行を満喫されていました。もうすでに「次はどこに行こうか」と、ご利用者さんは来年の旅行を楽しみにされています。

今人・モンスター・空 一泊旅行 9月26日～27日

昨年度の旅行が終わった直後から、1年間楽しみにして頂いていた一泊旅行。アンケートの結果、名古屋方面に行くことになりました。今年は、「何か体験しよう！」ということで、INAXライブミュージアムに行き、様々な色のタイルを使ったフォトフレーム・マグネット作り体験に参加しました。皆さん一生懸命に作られ、できあがった作品を周りの方々と見せ合い、満足そうにされていました。

初日に立ち寄ったリニア・鉄道館では、大きな車体の新幹線や列車を間近に見たり、ミニシアターによるリニア模擬体験をされた方もおられたりと、短い時間でしたが心に残る体験となりました。

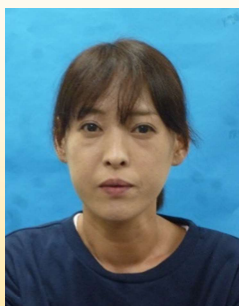
2日目のビーチランドは、動物たちとの距離が近いのが見どころの水族館です。大きなウミガメやイルカ達が私たちのすぐ近くまで寄ってくるので、驚いたり感動したりと大忙しでした。

2日間とも清々しい秋晴れの下、皆さまに旅行を楽しんで頂くことができました。



🎃 新入職員紹介 🎃

ご利用者のために精いっぱい頑張ります
どうぞよろしくお願い致します



うえだ いくこ
植田 郁子 (6月11日入職)
ゆらくの里 パート

はじめまして。今年の7月から以和貴会
でお世話になっています。色々と覚える
事が多く、あっという間の3ヵ月でした
が、老人ホームで勤めていた経験を活か
して、皆様のお役に立てるよう頑張ります
ので、よろしくお願い致します。



ほそみ たかひろ
細見 隆博 (8月19日入職)
すみれの里 パート

就労ブランク 1 年半後にすみれの里に
出会い、お世話になることになりました。
諸先輩方の指示を仰ぎ、この業界で
も 1 人前になれるよう心掛けておりま
す。日々学びです。よろしくお願い致し
ます。



もり たもつ
森田 保 (8月19日入職)
我楽(さぼーと) パート

週に3日(月・水・木)、勤務させて頂
くことになりました。以前の職業での経
験を活かし、和やかな雰囲気と人間関
係、貴重な出会いを大切にできるように
頑張りたいと思います。どうぞよろしく
お願い致します。



たかおか かおり
高岡 香里 (8月29日入職)
我楽(カフェ) パート

8月末より、勤務させて頂いています。
まだまだ知識不足ではありますが、これ
からしっかり学んでいきたいと思っ
ています。お客様・ご利用者を笑顔にで
きるよう、精一杯頑張りますので、よろ
しくお願い致します。



きたじま し す え
北島 志津枝 (9月3日入職)
我楽(さぼーと) パート

9月から勤務させて頂いています。
できるだけ仕事を早く覚えて、ご利用
者の方と楽しく過ごせるように頑張
りたいと思います。



にった み か
新田 美加 (9月24日入職)
今人 パート

9月24日より、ワークサポートセン
ター今人で勤務させて頂く事になりま
した。笑顔を忘れず、ご利用者の皆
さんと販売業務を頑張りたいと思
います。よろしくお願い致します。



Follow Me!

『以和貴会(法人公式)』 & 『今人』

Instagramはじめました!



★以和貴会(法人公式)★
Instagram



@iwakikai_kashiba

★ワークサポートセンター今人★
Instagram



@work_imagine

アート活動「アトリエ それいゆ」便り

絵画サークル・アトリエそれいゆ 岡橋 三起子

■ 第104回二科展デザイン部 入選(一般社団法人二科会デザイン部 主催)

アトリエそれいゆ・西谷光世さんの作品『明日に向かって』が、「第104回二科展デザイン部」に3回目の入選を果たすことができました。この展覧会は、多様化する現代を認識し、自由な発想と創造性豊かな感性を求め、ビジュアルに表現することを指標としており、今年で104年目を迎えます。また、この公募展は、すでに完成された表現形式よりも、現代的な意欲に溢れたオリジナル作品が歓迎されます。障がいのあるなしにかかわらず、作品を評価していただき、光栄に思います。



■ プライベート美術館 お見合い展示(奈良県障害者大芸術祭実行委員会・奈良県大芸術祭実行委員会・奈良県 主催)

2019年8月28日(水)～8月31日(土)まで、奈良県文化会館にて「プライベート美術館 お見合い展示」が開催されました。「プライベート美術館」は、障がいのある人のアートを日常の中で楽しむプロジェクトです。奈良市内をはじめ、奈良県下の店舗などのオーナーやスタッフに作品を直接見て頂き、展示したい作品を選んでもらうマッチングが行われました。マッチングが成立した作品は、2019年10月19日(土)～11月4日(月・祝)まで、近鉄奈良駅周辺を含め、県内各地のカフェ・町屋・社寺などで展示されます。深まりゆく秋に障がいのある人の芸術を堪能いただければ幸いです。

《ありがとうございました》

多くの方よりご寄附をいただきました。皆様方からの寄附を施設整備など、有効に活用し、ご利用者のために使用させていただきます。

《個人》

中筋廣次、川本雅代、佐井康治、増尾明広、寺田惣一、片上芳子、匿名希望1名

《業者ほか》

(株)タクサン、(株)ステップワン、(株)田原建設、山口ガス商会

(順不同・敬称略)

《賛助会員募集》

引き続き賛助会員を募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願い申し上げます。寄附金控除を受けるための領収証をご希望の方は「通信欄」にてご連絡ください。

《編集後記》

暑く長い夏が終わりを迎え、ようやく秋の気候が訪れて来ました。先日の台風19号により、各地で大きな被害が出ました。被害にあわれた方には心からお見舞いを申し上げます。

発行：社会福祉法人 以和貴会
住所：〒639-0261
奈良県香芝市尼寺616番地
編集責任者：理事長 下村 卓司
Mail：office@yuraku.or.jp
発行月：令和1年10月